

はじめてのデザイナー・ニット

「ステッチデザイナー」で模様の創作を練習しましょう。

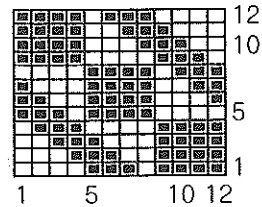
今回は、下記の模様を例にして、カラーで編込み模様を作成します。

ステッチデザイナーで模様を作成

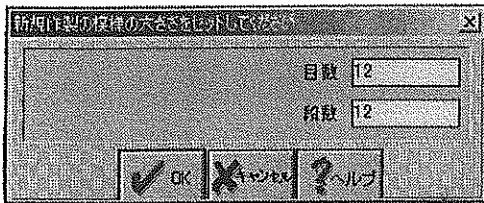
1. 「ステッチデザイナー」をクリックします。



編込み (12段12目1模様)

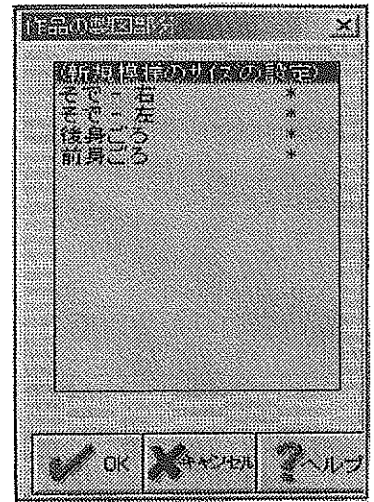


2. 「ファイル」メニューから「新規作成」をクリックし、模様の日数、段数を入力します。



目数 段数 →OK

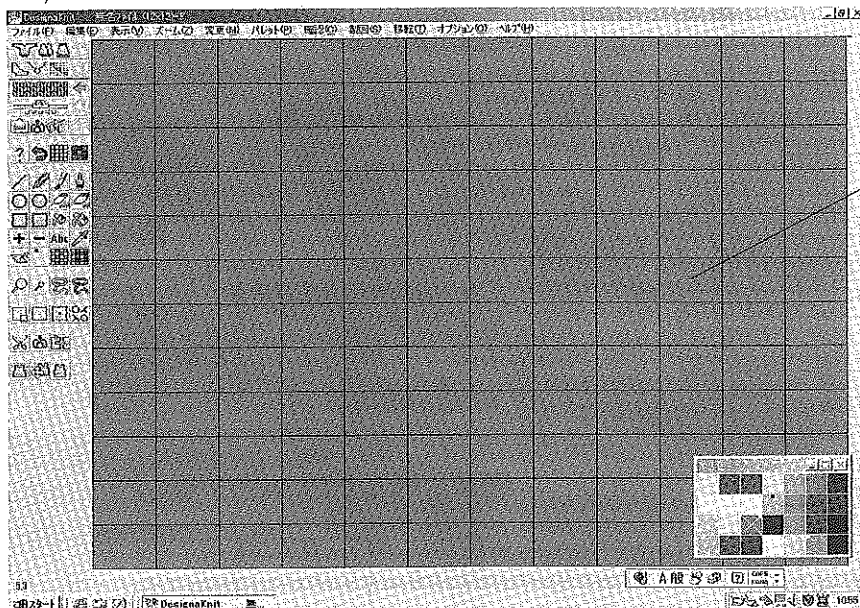
注:「ステッチデザイナー」を使う前に製図作成領域で作業した製図がメモリーに入っていると右のダイアログが表示されます。この場合は「新規模様サイズの設定」を選択して「OK」をクリックすると左のダイアログが表示されます。



3. 「表示」メニューの「糸色」・「糸色パレット」・「グリッド」
「境界線」にチェックをつけます。

無名ファイル (12×12) - F

無名ファイル——ファイルを保存していないので無名となります。
(12×12)——模様の日数を表します。左は目数・右は段数。
F——編み方を表します。Fは編込み。



タテ12×ヨコ12のグリッド (柵目) が表示されます。


糸の色


規定の糸パレット28色が表示されます。

- 5.3 ——マウスポインタの位置を示します。右の数字は段数、左の数字は、目数を表します。例 5目3段の位置

4. 模様を描きます。

- ① 画面右下の **糸の色** パレットで地色と配色を選択します。


地色.....  交差記号が入り右角に印がつきます。.....マウス右ボタンをクリック


配色.....  無印で左角に印がつきます。.....マウス左ボタンをクリック

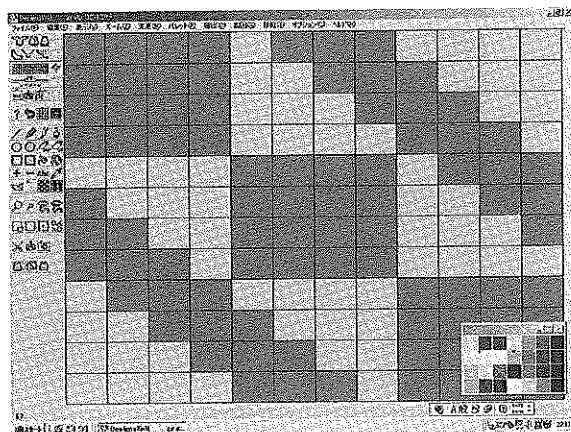
 中央に印がついている.....マウス左右ボタンを同時にクリック

※色は、編む糸と同じ色にする必要はありません。地色と配色がはっきりわかる色を選びましょう。

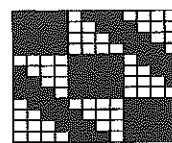
※地色を変える簡単な方法

 「大きなバケツ」ツールをクリックし、新しい色を右クリックして選択し模様画面で右クリックすると色が変わります。次に、コントロールキーを押しながら **糸の色** パレットの地色をクリックすると地色表示の交差記号がつきます。

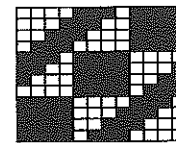
- ②  「鉛筆」ツールをクリックし、グリッド（柵目）の中をマウス左ボタンをクリックしながら模様を描きます。1度クリックするとマウスポインタの真下を描き、連続した線を描くには、マウスボタンを押しながら動かします。間違えた場合は、マウス右ボタンをクリックします。



注：「ステッチデザイナー」で作成する編込み模様は、表から見た模様です。
「対話式編み方」では、左右反転します。



「ステッチデザイナー」



「対話式編み方」

5. 模様の保存をします。

- ① 「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」をクリックします。

「ファイル名」に名前を入力します。（例 001）→「OK」をクリックします。

注：既存の模様と同じ名前にならないようにします。

- ② ファイルの名前の後ろに拡張子 .stp が付き保存されます。

- ③ 「模様ファイルを開く」で「既存の模様」の中から今の模様を選択し「OK」すると画面に模様が表示されタイトルバーのファイル名は、次のようになります。

001.stp (12×12) - F